

第3章 活気と魅力のある豊かなまち

第1節 農林水産業の振興

《現況と課題》

第一次産業を取り巻く状況は、厳しい情勢になっています。

農業においては、担い手の高齢化や後継者不足、米等の農産物需給の不均衡、経営規模拡大の遅れ、農産物輸入自由化に関する食糧管理制度の見直しや価格変動等、多くの課題を抱えています。

林業においても、労働力の高齢化や後継者不足が言われており、その他には木材価格・木材需要・収益性の低下等、多くの問題が表面化しています。

水産業においては、海苔養殖業が本町の水産業の基幹となっていますが、農林業と同様に、就業者の高齢化や後継者不足の状況であり、また、全国的な生産過剰による価格低迷、設備経費の増大、有明海の環境悪化等、厳しい状況になっています。

第一次産業全体に関わる計画的生産・計画的出荷を図りながら、安定した生産販売体制の整備が求められています。

また、後継者の育成や、観光との連携を模索していく必要があります。

《めざすべき方向》

農業においては、集落単位の営農体制の整備や、生産性・収益性の高い、魅力ある農業を目指します。

林業においては、水源涵養や地球温暖化の防止等の国土保全を視野に入れた森林保持を目指します。

水産業においては、生産性の向上を目指して、生産・流通・加工を通じた体制づくりと、つくり育てる水産業の振興、および観光漁業の展開も模索していきます。

《施策の体系》

基本方針	主要施策
1 農林水産業の振興	(1) 農業の振興
	(2) 林業の振興
	(3) 水産業の振興

《主要施策》

(1) 農業の振興

農業の生産性の向上と農業構造の改善を図るため、水資源の確保に努めるとともに、土地基盤及び施設整備による農業生産基盤の整備や機能回復を進めます。

また、肥沃な土地条件を生かし、米を中心にレンコン、たまねぎ等の露地野菜やいちご、花卉等の施設園芸、さらには肉用牛等の畜産物に対する新しいシステムや技術導入、ブランド化の確立によるイメージアップなどにより、付加価値を高めた農産物の販売促進や経営基盤の強化・拡大を図るとともに、次世代を担う若手経営者の育成、新しい特産物の開発・加工、地産地消活動、各種関係団体への支援などを積極的に推進します。

さらに、米・麦・大豆については、国の食料・農業・農村基本計画により個別経営体への農地の集積にあわせて、一定の要件を備えた集落経営体の育成を推進し、農家経済の安定に努めます。

(2) 林業の振興

森林の持つ水源涵養、土砂流出防止、保養などの公益的機能を高めるため、白石町森林整備計画に基づき、森林資源の保全と多面的な活用を図ります。

また、林道等の生産基盤の整備を行い、生産活動の円滑化、効率化を図ります。

(3) 水産業の振興

有明海の代表的な海産物である海苔の品質向上、稚魚や稚貝の放流、新たな栽培技術導入などにより、水産資源の回復・拡大と経営基盤の強化を図ります。

また、特定漁港漁場整備事業計画に基づき、漁港や水産関連施設の整備等により、より効率的で合理的な漁業経営環境の整備に努めます。

◆農業産出額の推移 資料:佐賀農林水産統計年報 単位:千万円

		平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年
農業産出額		1,468	1,851	1,481	1,758	1,465
作物	米	408	556	334	417	126
	麦類	96	83	111	137	113
	雑穀、豆類、いも類	63	51	42	52	24
	野菜	763	1,021	860	1,016	1,078
	果実	6	6	6	5	5
	花き	28	29	29	31	24
	種苗、苗木、その他	8	5	4	3	6
	計	1,373	1,753	1,386	1,661	1,376
畜産	肉用牛	55	57	54	56	51
	乳用牛	(x)	(x)	25	25	24
	養豚	(x)	(x)	(x)	(x)	(x)
	養鶏	(x)	(x)	(x)	(x)	(x)
計	93	98	94	97	88	
加工農産物		1	1	0	0	0

注1)統計項目によっては端数処理の関係で総数と内訳が一致しないものがあります。

注2)(x)は秘密保護のため統計数値を公表しないものです。

第2節 商工業の振興

《現況と課題》

本町の商業は、中心地と言われるエリアがなく、散在化の傾向にあります。商店街においては、家族経営等の小規模店舗が多く、店主の高齢化や後継者不足も叫ばれるようになり、休業・廃業店が増加する傾向がみられます。

また、近隣市町に大型店の進出により、町民の消費者の購買流出の傾向も大きくなっています。

工業については、地盤沈下・用水確保等の問題があることから、企業誘致が厳しい状況にあります。しかし、本町の特性に合った企業誘致や地場産材加工業等の育成も求められています。

《めざすべき方向》

将来も、消費活動の多様化・個性化が進むことが予測されることから、経営者の育成や商店街の再編、商業者の組織化等に取り組みます。

また、本町の地域特性に合った企業誘致活動と、地産地消を可能にする企業の育成を推進し、地域と密着した商工業の振興を図ります。

《施策の体系》

基本方針	主要施策
2 商工業の振興	(1) 商業の振興
	(2) 工業の振興

◆卸売・小売業事業所数等の推移

単位：人、万円

	事業所数	従業者数	年間販売額(万円)
平成9年	426	1,821	3,036,033
平成11年	395	1,739	2,706,151
平成14年	376	1,891	2,709,390
平成16年	349	1,856	2,807,937
平成19年	316	1,807	2,793,279

資料：商業統計

《主要施策》

(1) 商業の振興

消費者ニーズを的確に把握した個性的な店づくりや経営者の育成を支援するとともに、地域商業団体の育成に努め、人とのふれあいを大切に、地域に密着した魅力ある商店街の振興を図ります。

(2) 工業の振興

地域経済の活性化を図るため、既存企業の育成・支援を行うとともに、地元の特産物を生かした農水産加工業の育成に努めます。

また、企業誘致を積極的に進めるため、水資源の確保や関係機関と連携し、業種、企業選定のための企業調査、研究を慎重に行います。



第3節 観光の振興

《現況と課題》

本町の観光においては、これまでも温暖な気候に恵まれた自然や有明海を活かした多くの開発・イベント企画等が推進されてきました。

今後も、近年の社会経済環境の変化によって、観光資源も多様化することが予測されることから、自然回帰・ゆとり・癒しなどと言われるような観光・レクリエーションに対する多様なニーズに応えられる観光資源の開発を推進し、新しい特産品やイベント開催等が求められています。

《めざすべき方向》

本町の自然や有明海等の特性を活かした観光の推進や、農水産業との連携及び地場産品等を活用した観光産業の定着と振興を図ります。

《施策の体系》

基本方針	主要施策
3 観光の振興	(1) 観光の振興

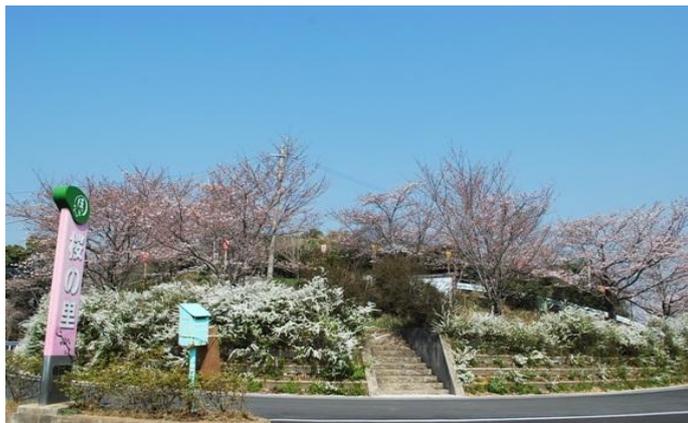


歌垣公園

《主要施策》

(1) 観光の振興

有明海、白石平野、杵島山の豊かな自然や歴史・文化等の観光資源のネットワーク化を進めるとともに、地域の資源を生かしたイベントの開催、町内外への積極的なPR活動などにより交流人口を拡大し、地域の活性化を図ります。



桜の里



福泉禅寺



縫ノ池

第4節 新たな地域活力の創出

《現況と課題》

これまでの本町の産業は、生産・流通・加工・消費活動等に対する検討を同一業種内で行っている傾向がありました。生産性や収益性の向上に対する検討も同様のことが言えます。

しかし、消費者のニーズは多様化しており、例えば、農業就業者だけというような同一業種だけでは対応できない状況となっています。

今後は、同一業種だけの対応ではなく、農林水産業・商工業・観光産業等の幅広い業種に渡って連携し、生産性向上や消費活動の研究や、特産品開発等の開発が求められています。

《めざすべき方向》

同一業種だけでなく、農林水産業・商工業・観光産業はもとより、情報発信やネットワークの構築を目指したIT産業等とも連携して、生産・流通・加工・消費活動等の検討や、特産品開発や加工品の開発を目指します。

《施策の体系》

基本方針	主要施策
4 新たな地域活力の創出	(1) 新たな地域活力の創出



《主要施策》

(1) 新たな地域活力の創出

農林水産業、商工業、観光産業等が連携を図り、地域の魅力を生かした新たな分野での地域活力の創出を支援します。

特に、安全で安心なものを安価で消費者に提供し、町内産物の良さを広く宣伝するための拠点として直売所の活性化を喚起していきます。そのために、消費者ニーズにあった品揃え、販売方法など会員相互の研究についても積極的に支援していきます。

また、産物の付加価値を高めた商品の開発にも積極的に取り組みます。

